

特定非営利活動法人 社会還元センターグループわ

第 22 回定期総会議案書

日時：2025 年 5 月 24 日（土） 10 時 00 分～11 時 50 分

場所：神戸市北区しあわせの村 神戸市シルバーカレッジ カレッジホール



特定非営利活動法人 社会還元センターグループわ

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村 1 番 16 号

神戸市シルバーカレッジ内

TEL 078-743-8101 FAX 078-743-3830

メール group_wa@wa-net.jp

ホームページ <http://www.wa-net.jp/group-wa/>

第 22 回定期総会 総会次第

1. 開会のことば
2. 理事長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議長選出
5. [1 号議案] 令和 6 年度事業報告 1
6. [2 号議案] 令和 6 年度決算報告および監査報告 5
7. [3 号議案] 令和 7 年度役員選任 理事・監事 10
8. 新役員の紹介
9. [4 号議案] 令和 7 年度事業計画 11
10. [5 号議案] 令和 7 年度事業予算 14
11. 閉会のことば

(1) 活動の概要

グループわ では令和 6 年度も、高齢者や障がい者の福祉向上、子どもたちの健全育成を目的に、神戸市内の福祉施設や学校園への支援活動を継続しました。

本部主催事業としては、安全を最優先に「親子カブトムシ生育観察会」「夏休み工作塾」「野鳥観察会」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。

また、会員のボランティア活動支援として「KOBE シニア元気ポイント」の普及や、活動報告をスマートフォンやパソコンから簡便にする入力システムの開発・運用を進めました。

活動成果の詳細は次項で報告します。

(2) 会員数の推移

本年度末の会員数は 1,163 名となりました。会員確保に向けて、神戸市シルバーカレッジの現役生への活動紹介やクラブ活動を通じた働きかけを実施するとともに、学校園支援に協力いただいている一般支援者にも参加を呼び掛けるなどの取り組みの結果、新規入会者は 87 名となりました。しかし、高齢化に伴う退会者が 125 名となり、前年度の 1,201 名から 38 名減少となりました。

年度	会員総数	会員の内訳		退会者(別掲)
		内継続会員	内新入会	
令和 6 年度	1,163 名	1,076 名	87 名	125 名
令和 5 年度	1,201 名	1,063 名	138 名	117 名

(3) 財政収支

本年度は、神戸市教育委員会からの学校園・学習支援業務の継続受託があった一方で、創立以来、しあわせの村でのイベント開催で協力関係にあったこうべ市民福祉振興協会からの受託業務が打ち切れ、事業収益に影響を及ぼしました。

このため、財政再建への取り組みとして本部経費の大幅削減とイベント活動停止に伴う全体費用の削減に努めたことにより、当期正味財産増加額は 160,990 円となりました。

区分	令和 4 年度（2022 年度）	令和 5 年度（2023 年度）	令和 6 年度（2024 年度）
経常収益	12,626,603 円	10,286,331 円	7,670,606 円
経常費用	12,903,680 円	10,614,731 円	7,437,616 円
経常損益	-277,077 円	-328,390 円	232,990 円
当期正味財産増減額	-349,077 円	-400,390 円	160,990 円

<詳細は、第 2 号議案をご参照ください>

令和 4 年度（2022 年）から続いた赤字対策に対する姿勢として、本部の理事員数を削減しましたが、理事人件費は元々無償であるため、直接的な経費削減には至らず、理事の一人あたりの業務負担が増える結果となったことについては反省事項として次年度以降から緩和することとします。

収益の多様化と安定化を目指し、引き続き神戸市の公募事業や助成金の申請に取り組んだ結果、神戸市地域協働局から里山活動に対する NPO 助成金として採択され 2025 年度中に受給予定です。

(4) 事業活動**【自主事業の開催および支援事業】****① しあわせの村内での事業展開**

平成 25 年（2013 年）から、こうべ市民福祉振興協会と毎年共催していた「夏休み工作塾」が令和 6 年（2024 年）は後援のみとなりましたが、多くの子どもたちが参加されました。

子どもたちには、グループわ およびカレッジ生の指導のもと、共同作業を通じてモノづくりの楽しさを体験ただけでなく世代間交流・社会の学びの場として貴重な機会となりました。

開催日	イベント名	参加グループ	参加者・人数
7月15日	親子カブトムシ生育観察会	里山グループ、花実の森グループ、救急ボランティアOB会、わ本部	こども20名、保護者17名、スタッフ28名
8月3日	夏休み工作塾	木工グループ、ケナフの会、折り紙グループ悠々、花実の森、人形劇「ゆめのつづき」、むかしあそび研究会、創エネ神戸、救急ボランティアOB会、わ本部	こども196名、スタッフ110名
9月15日	しあわせの村まつり	ヨーヨーつりの夜店として出店	来店者420名、スタッフ9名
12月18日	グラウンドゴルフ大会	わ会員相互の親睦	会員33名
1月19日	野鳥観察会	わ会員相互の親睦〔野鳥観察会の協力〕	会員23名

② 神戸市シルバーカレッジ1年生（31期生）への共通授業

2024年7月3日に行われたシルバーカレッジ1年生の共通授業において、グループわの設立目的・活動内容の紹介と、グループ内の傘下クラブによるパフォーマンスも披露され、グループわへの理解促進と今後の参加意欲の向上につながる、意義深い授業となりました。

③ 神戸市シルバーカレッジとの協力活動

時期	協力活動
4月	入学式における駐車誘導、式進行補助、集合写真撮影 駐車定期券販売協力
8月	心肺蘇生法の講習会（対象：グループわ本部役員およびカレッジ事務局）
10月	学園祭への展示・参加 KOBEシニア元気ポイント説明会を10月25日に開催
11月	オープンキャンパスの授業・クラブ活動時間に見学者の入室誘導や案内等
1月	学校説明会時に入学希望者の受付、学内（施設・授業）の見学案内 地域交流会とグループわ 区会活動の推進活動
3月	卒業証書の筆耕

④ 国際会議関連支援

国際車いすテニストーナメント「DUNLOP KOBE OPEN 2024」の支援として、選手送迎等のボランティアを2024年4月18日～21日の開催期間に実施しました。

2024年度中に開催された国際会議での日本伝統文化を紹介する機会はありませんでした。

⑤ パソコン講座

神戸市シルバーカレッジの学生・卒業生をはじめ一般の方を対象に「パソコン何でもお好み塾」をふたば学舎で継続実施し、マンツーマン方式の個別指導を進めています。

また、カレッジ生を対象にKSCパソコン教室を実施しました。

項目	実施日	実施延べ回数	受講者総数	1回の受講者平均	講師延べ人数
ふたば学舎 何でもお好み塾	火・木・金曜 (週1回)	43回	112名	2.6名/回	142名
KSCパソコン教室	5月～3月	20回	38名	1.9名/回	38名

⑥ 区会・部会活動

区会：シルバーカレッジ学生との地域交流会を実施し、区会との連携強化に努めました。

部会：各グループの長年の経験と知識を基に、地域振興、福祉・国際・環境・文化・いきがいの各分野で活動を展開しました。

<詳細は、別添の事業報告書をご参照ください>

【学校園支援活動】

神戸市内の学校園に対して 136 校園、延べ 4,074 人の方にご協力・支援いただきました。

実施内容	校園数・回数	延べ人数	実施月
説明会・研修会・支援者の集いの開催	3 回	97 人	4 月・7 月。12 月
学習支援・特別支援教育支援	52 校園	2,980 人	通年実施
授業参観など各種行事の受付支援	50 校園	280 人	
図書室の環境整備、飼育動物の世話等	31 校園	593 人	
作品展・書初展・絵画展等	6 回	114 人	9 月・1 月
戦争の語り部授業	3 校園	10 人	10 月・12 月

(5) 管理運営の効率化

業務効率化として、業務用書類の電子データ化を進め、クラウドへの移行を実施しました。

会員からの活動報告集約の速達性・見える化を、2023 年度の区会・部会の活動報告の Web 化に引き続き、2024 年度には学校園の活動報告も Web 化し、業務効率化を推進しました。

広報部門ではホームページ・SNS を活用し、最新の活動情報の発信など、充実を図りました。

(6) KOBE シニア元気ポイントの活用推進

元気ポイントの活用策として、ボランティア活動の新たな分野への活動のきっかけ作りとなるよう、わ会員・シルバーカレッジ学生への元気ポイントの加入促進を図りました。2024 年 10 月には、シルバーカレッジ学園祭においての PR 活動、加入説明会を開催しました。

ポイント適用施設の拡大についても、わ会員が活動している施設での適用に取り組みました。

(7) こうべ市民福祉振興協会との関係

グループわ では、こうべ市民福祉振興協会と 10 年以上にわたり、しあわせの村で「世代間交流を通じた子育て支援事業」を共催し、「わいわいストリート」「夏休み工作塾」「ビバ！ハロウィン」などのイベントを協力して開催してきました。

しかし一昨年、協会側ではグループわ との協力関係に変更があり、共催事業に関する覚書が協会側の判断で打ち切りとなりました。

さらに昨年 12 月には、わ事務所利用や駐車場、川重基金の取り扱いについての条件変更が持ち出され、対立的な関係となりました。その後の協議により、事務所等の利用条件はおおむね元に戻りつつありますが、イベントに関する協力関係については引き続き協議中です。

(8) ハロウィン事故の対応

2023 年 10 月のハロウィンイベントで発生した支柱倒壊事故により、参加児童にけがを負わせてしまったことにつきまして、あらためて深くお詫び申し上げます。グループわ では、事故後から 2024 年 3 月まで負傷された児童の通学支援を行い、現在（2025 年 3 月末時点）、学業や日常生活には大きな支障はないものの、リハビリは継続中で、今夏までに治療終了の見込みです。なお、治療費等については、支柱作業を担当した株式会社ユニオンアルファが負担しています。

治療終了後は、こうべ市民福祉振興協会、株式会社ユニオンアルファ、グループわ の三者で、負傷された児童の親権者と誠意をもって示談交渉を進めてまいります。

(9) 能登半島地震災害救援の募金活動

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震被災者を支援するため、わ会員およびシルバーカレッジ学生に呼びかけた募金活動において、総額 250,938 円のご寄付が寄せられました。募金は神戸市社会福祉協議会を通じ日本赤十字社に送金され、被災地支援のために活用されます。多くの皆さまの温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

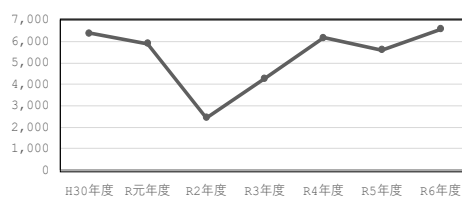
令和6年度年間活動実績表（本部・区会・部会の合計）

活動報告書提出分

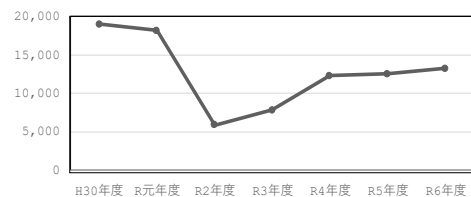
項目	分類1	分類2	令和5年度		令和6年度	
			延日数の合計	延人数の合計	延日数の合計	延人数の合計
1	友愛訪問	01高齢者福祉	381	1,494	320	1,611
		02児童福祉	32	227	92	586
		03障がい者福祉	17	47	45	177
		04募金活動				
		05子育て支援	21	50	35	47
		06福祉その他	12	73	149	719
2	パソコン指導	11高齢者パソコン指導	40	164	59	206
		(令和5年度はパソコン指導その他に分類)				
3	地域まちづくり	21公園・海岸・河川等の清掃	22	417	35	599
		22地域まちづくり	54	784	22	162
		23観光ボランティア	122	216	194	293
		24祭り参加	5	55	10	158
		25まちづくり支援その他	43	86	3	17
4	いきがづくり	31いきがづくり	86	735	27	83
		32いきがづくりその他	24	96	78	606
5	環境	41自然環境	57	487	28	208
		42環境教育	29	245	28	145
		43生活環境	1	6	65	463
		44環境その他	140	1,345	15	125
6	国際親善	51外国人支援	36	40	46	78
		52文化交流	48	176	44	444
		53国際親善その他	42	107	15	98
7	生活文化の伝承	61生活文化			34	117
		62自然体験			14	73
		63生活文化の伝承その他	68	726	3	22
8	学校等公益団体運営支援	71委託事業				
		72公益団体作業	19	71	499	503
		73公益団体行事	26	346	474	469
		74学習・学校支援	4,121	4,248	4,002	4,315
		75公益団体運営支援その他	115	117	85	110
9	ボランティア啓発	81情報発信			1	10
		82啓発行事開催	7	75	1	3
		83その他ボランティア啓発	26	117	18	207
10	その他	99その他			138	568
合 計			5,594	12,550	6,579	13,222

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延日数の合計	6,372	5,904	2,450	4,268	6,159	5,594	6,579
延人数の合計	19,016	18,177	5,879	7,837	12,294	12,550	13,222

延日数の合計の推移



延人数の合計の推移



活動計算書 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

単位：円

科目	金 額		
(正味財産増減計算)			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
受取会費	1,744,500		
受取会費・入会金計		1,744,500	
受取寄付金			
受取寄付金	75,885		
受取寄付金計		75,885	
受取助成金等			
受取民間助成金	300,000		
受取助成金等計		300,000	
事業収益			
受託料収益	4,716,873		
参加料収益	114,500		
受講料収益	365,000		
販売収益	183,700		
事業収益計		5,380,073	
その他収益			
受取利息	8,710		
雑収益	161,438		
その他収益計		170,148	
経常収益合計			7,670,606
(2)経常費用			
事業費			
活動報酬	182,700		
旅費交通費	2,788,140		
通信運搬費	101,323		
材料料	69,831		
消耗品費	24,878		
修繕費	73,194		
印刷製本費	73,976		
賃借料	76,300		
保険料	633,770		
支払助成金	454,800		
業務委託費	52,091		
システム利用費	80,591		
雑費	96,782		

科目	金 額		
事業費計		4,708,376	
管理費			
旅費交通費	865,978		
通信運搬費	202,285		
消耗品費	232,396		
消耗備品費	182,420		
印刷製本費	137,726		
地代家賃	305,984		
保険料	117,870		
租税公課	66,113		
支払手数料	87,891		
システム利用費	169,872		
雑費	155,304		
減価償却費	205,401		
管理費合計		2,729,240	
経常費用計			7,437,616
当期経常増減額			232,990
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			239,990
法人税、住民税び事業税	72,000		
当期正味財産増減額			160,990
前期繰越正味財産額			17,022,512
次期繰越正味財産額			17,183,502

貸借対照表 2025 年 3 月 31 日現在

単位：円

Ⅰ 資産の部		Ⅱ 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金預金		未払費用	561,576
現金	321,094	前受金	1,956,000
当座預金	1,472,530	仮受金	1,399,475
普通預金	15,327,797	流動負債 計	3,917,051
現金預金 計	17,121,421	2.固定負債	
他の流動資産		固定負債 計	0
未収金	3,021,303	負債合計	3,917,051
前払費用	488,600	Ⅲ 正味財産の部	
仮払金	5,000	前期繰越正味財産	17,022,512
他の流動資産合計	3,514,903	当期正味財産増減額	160,990
流動資産合計	20,636,324	正味財産合計	17,183,502
2.固定資産			
有形固定資産			
什器備品	464,229		
有形固定資産 計	464,229		
無形固定資産			
無形固定資産 計	0		
投資その他の資産			
投資その他の資産 計	0		
固定資産合計	464,229		
資産合計	21,100,553	負債正味財産合計	21,100,553

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正、NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理処理によっています。

2. 事業費の内訳

令和6年度活動計算書 事業費内訳表 2024年4月1日～2025年3月31日

単位：千円

科 目	公益団体運営 支援事業	イベント 活動事業	パソコン 指導事業	区会・部会 活動事業	ボランティア 啓発事業	合 計
活動報酬	70	0	112	0	0	182
旅費交通費	2,262	414	111	0	0	2,788
通信運搬費	101	0	0	0	0	101
材料費	0	69	0	0	0	69
消耗品費	0	24	0	0	0	24
修繕費	0	73	0	0	0	73
印刷製本費	65	8	0	0	0	73
賃借料	0	34	41	0	0	76
保険料	32	19	0	0	582	633
支払助成金	0	0	0	454	0	454
業務委託費	18	33	0	0	0	52
システム利用費	80	0	0	0	0	80
雑費	0	50	0	0	46	96
事業費計	2,630	727	266	454	628	4,708

上記の表（事業費の内訳）の科目および合計の金額は、千円未満切り捨ての金額表示です。

3. 固定資産の増減の内訳

単位：円

科 目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産 什器備品	241,277	0	0	5,344,644	4,880,415	464,229

4. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

令和6年度における当法人の収益は、学校園および学習支援業務の継続的な受託を軸とし、加えてパソコン教室の運営、イベントにおける物品販売、ならびにグループわ会員からの会費収入および川重基金による助成金収入を含めて構成されました。

これらの収益を基盤としつつ、各活動分野における経費の削減に努めることで、当法人の活動の場を維持することができました。

財産目録 2025 年 3 月 31 日 現在

単位：円

借対照表科目		内容	金額	
(流動資産)				
現金預金	現金	本部現金	321,094	17,121,421
	当座預金	ゆうちょ銀行	1,472,530	
	普通預金	三井住友銀行	14,650,988	
		みなと銀行	676,809	
他の流動資産	未収金	神戸市学校園受託料	2,871,000	3,021,303
		受託料他	150,303	
	前払費用	令和 7 年度ボランティア保険料	480,500	488,600
		4・5 月分ふたば教室使用料他	8,100	
	仮払金	パソコン教室釣銭準備金等	5,000	5,000
流動資産計				20,636,324
(固定資産)				
有形固定資産	什器備品	ノートパソコン、書庫他	464,229	464,229
無形固定資産			0	0
固定資産合計				464,229
産合計				21,100,553
(流動負債)				
(流動負債)	未払費用	3 月分学校園ボランティア交通費費	349,500	561,576
		3 月分本部活動交通費他	212,076	
	前受金	令和 7 年度わ年会費他	1,956,000	1,956,000
	仮受金	東灘区会清算金預り金	223,475	1,399,475
		グループわ会員専用駐車定期券代	1,176,000	
流動負債合計				3,917,051
負債合計				3,917,051
正味財産合計				17,183,502

監査報告

令和 6 年度（2024 年度）決算書及び関係書類等について監査したところ、いずれも適正であると認めます。

2025 年 4 月 11 日

監事 伊藤 満夫 印

役員候補

理事	つじもと のりかず 辻本 憲和	25期・美工	垂水区
理事	かたやま やすし 片山 康	26期・園芸	須磨区
理事	なん き まさとし 南木 正敏	27期・生環	垂水区
理事	なかつか さとし 中塚 賢	27期・健福	西区
理事	やすい ともこ 安井 智子	27期・音文	北区
理事	やまもと よし え 山本 良枝	27期・生環	須磨区
理事	こやぶ たかあき 小藪 孝明	28期・健康	長田区
理事	こやま ひろし 小山 博	28期・国際	北区
理事	ながよし いくこ 永吉 郁子	28期・美工	灘区
理事	もりした としひろ 森下 利広	28期・生環	垂水区
理事(新任)	おおなか まさお 大中 雅夫	29期・国際	垂水区
理事(新任)	つかはら よしたか 塚原 芳高	29期・国際	須磨区
理事(新任)	なかたに しげき 中谷 茂樹	29期・美工	須磨区
理事(新任)	のう き え こ 能 喜栄子	29期・健康	北区
非常勤理事	すぎえ ゆうすけ 杉江 優祐	(西区会長)	西区
非常勤理事(新任)	おおばやし けいこ 大林 恵子	(いきがい部会長)	北区
非常勤監事	いとう みつお 伊藤 満夫	25期・健福	西区

1. 事業方針

グループわ は、2023年のイベント事故を教訓に、安全管理を最優先とした事業運営を徹底してまいります。すべての活動においてリスク管理を強化し、関係者の安全を確保しながら推進していきます。また、社会貢献活動の充実、会員の活性化、財務基盤の安定、業務の効率化、広報の強化、地域連携を柱に、持続可能な組織運営を目指し、より良い未来に向けて取り組んでまいります。

2. 事業活動

(1) 社会貢献活動

高齢者や障がい者の福祉向上を支援するとともに、子どもたちの健全な育成を促進する活動を実施します。地域社会との連携を強化し、交流イベントの開催を通じて地域活性化にも寄与していきます。また、老人介護施設や福祉施設でのボランティア活動範囲の拡大を推進します。

【自主事業の開催および支援事業】

① 「しあわせの村」「あいな里山公園」での事業展開

こうべ市民福祉振興協会との協力関係が復活できるよう「夏休み工作塾」のシルバーカレッジでの開催を申し入れています。

その他、活動計画は次の通りです。

開催月	イベント名	参加グループ	参加者・人数
5月	わくわくひろば <あいな里山公園>	グループわ およびカレッジ生	こどもと保護者 ※人数枠未定
7月	親子カブトムシ 生育観察会 <しあわせの村>	グループわ およびカレッジ生	こどもと保護者 ※人数枠未定
8月	夏休み工作塾 <シルバーカレッジ>	グループわ およびカレッジ生	小学生 ※人数枠未定
9月	しあわせの村まつり	ヨーヨーつりの夜店として出店	※人数枠未定
11月	グラウンドゴルフ大会 <しあわせの村>	わ会員相互の親睦	※人数枠未定
12月	野鳥観察会 <しあわせの村>	わ会員相互の親睦 [野鳥観察会の協力]	※人数枠未定

② 神戸市シルバーカレッジ1年生（32期生）への共通授業

今年度の共通授業は6月18日を予定とし、グループわ の設立目的や活動内容を紹介します。

③ 神戸市シルバーカレッジとの協力活動

時期	協力活動 [予定]
4月	入学式における駐車誘導、式進行補助、集合写真撮影、駐車定期券販売協力
5月	AED講習会支援（園芸コース合同授業）
6月	KOBE シニア元気ポイント説明会を6月18日の放課後に開催（カレッジ生、わ会員）
8月	心肺蘇生法の講習会（対象：グループわ本部役員およびカレッジ事務局）
10月	学園祭への展示・参加
11月	オープンキャンパスでの見学者対応と校内案内
1月	入学申込時の学校説明会への協力、地域交流会とグループわ 区会活動の推進活動
3月	卒業証書の筆耕

④ 国際会議関連支援

- ・国際車いすテニストーナメント支援

今年度も、国際車いすテニストーナメント「DUNLOP KOBE OPEN 2025」の支援として、選手送迎等のボランティアを4月23日～27日の開催期間および前後日に支援いたします。

・国際会議での日本伝統文化紹介

国際コンベンションおよび神戸国際協力交流センターからの受託事業として、日本の伝統文化（茶道・書道・華道、着付け等）を紹介して、外国の方に日本への理解を深める活動を行います。神戸観光局・国際協力交流センターと密にコンタクトを取り、活動を推進していきます。

⑤ パソコン講座

神戸市シルバーカレッジ、ふたば学舎でのマンツーマン方式のパソコン個別指導の普及を進めていきます。

教室	実施日	参加者数	受講料
ふたば学舎「何でもお好み塾」	毎週金曜日	4～6名/回	1回2千円
KSC パソコン教室	5月～3月 月2回（水）	定員5名	1回2千円

【学校園支援活動】

私たちシルバー世代が寄り添って学習や課外活動を支援することで、子どもたちの成長を励まし、学校を応援することは私たち自身が元気を得、やりがいを感じられる最高のボランティアと考えます。従来の学習支援に加え、運動会や音楽会、授業参観などの行事支援、花壇の環境整備、図書室の環境整備、飼育動物の世話など多岐にわたる学校園ボランティア活動を推進します。

主な実施内容は次の通りです。

実施内容	校園数	実施予定
説明会・研修会・支援者の集いの開催	3回	4月、7月、12月
学習支援・特別支援教育支援	約60校	随時
授業参観など各種行事の受付支援	約60校	随時
図書室の環境整備、飼育動物の世話等	約50校	随時
作品展・書初展・絵画展等	6回	9月、10月、1月
戦争の語り部授業	-	要請あり次第随時

(2) 会員・人材確保と活動の推進

今年度もシルバーカレッジの卒業生の約3割の方に入会いただきましたが、これまで活動されていた最高齢者層の方の退会者数が増加傾向となっています。

このため、会員の継続の向上と新規会員の獲得を重要課題とし、個々の会員が活動しやすい環境を確保し、社会参加の機会をより多く提供できるように取り組みます。

- ・グループわ事業として、活動の場の確保や練習の成果を発表する機会を増やし、会員のモチベーション向上に努めます。
- ・神戸市が推進している「KOBE シニア元気ポイント」を活用し、これまでと違うボランティア活動への踏み出しができるように支援を強化します。

本年度中には学校園での元気ポイントが適用できるように現在取り組み中です。

また、シルバーカレッジの学生と連携し、地域交流活動を推進することで、地域社会とのつながりを深めていきます。

(3) 財政収支の安定化

財政収支安定化のため、本年度より年会費を2,000円（前年度まで1,500円）とさせていただきます。NPO法人の運営は会費と寄付金で成り立つものとされています。この会費を基に、今後は更に安定した財務運営を維持するために、収支バランスを考慮しながら継続事業の確保に努めます。また、事業活動の目的に適した新規プロジェクトの獲得を目指し、各種公募へ積極的に参加し

ます。さらに、企業や団体からの助成金の獲得を重要な施策とし、支援の機会を逃さず応募を進めてまいります。なお、本年度は神戸市からの「地域課題に取り組む NPO 等補助事業(2024 年採択)」、国立青少年教育振興機構からの「子どもゆめ基金(2025 年交付)」の助成金が交付される予定です。

<本年度予算は、第 5 号議案をご参照ください>

(4) 組織運営の効率化

会員支援の事業は拡大を目指しますが、一方では本部管理業務は効率化を進めます。電子化による書類削減やデータの共有化を図り、システム化を推進することで業務負担を軽減し、より円滑な組織運営を実現していきます。これにつきましては、会員皆さまからの活動報告を紙媒体からパソコン・スマホ入力への移行にご協力をお願いします。

(5) 広報・PR 戦略

グループわ では、ホームページや SNS を活用して情報発信力を高め、活動内容を広く社会に伝えていきます。これにより、組織のイメージ向上を図るとともに、外部からの理解者・支援者の獲得につなげていきます。その一環として、日常の区会・部会活動の様子を写真に収め、活動報告に添付いただくことで、SNS での情報発信をより充実させるよう、ご協力をお願いいたします。

- ・ ぎゃらりーわ の年 4 回発行について

1 月号・4 月号は、全会員に郵送し、7 月号・11 月号は、Web 版とし、希望者には送料をご負担いただくかたちで郵送対応いたします。

- ・ ホームページ・SNS での情報発信について

ホームページは、活動状況が分かりやすく伝わるようレイアウトを見直しと、SNS では、各分野の活動をタイムリーに発信し、グループわ の理解者・支援者の拡大を目指します

(6) KOBE シニア元気ポイントの活用推進計画

神戸市の関係部局に対し、昨年度より学校園支援活動への元気ポイント適用を要望してきた結果、今年度中に実現する方向となりました。これにより、多くの会員が学校園支援活動に参加するきっかけとなり、地域貢献のさらなる促進が期待されます。

また、元気ポイントへの加入促進のため、6 月 18 日に、わ会員およびシルバーカレッジの学生を対象とした「説明会および登録手続き」を、カレッジ事務局と連携して開催いたします。

(7) こうべ市民福祉振興協会との関係改善

同協会との昨年度の対峙関係は、本報告書の作成時点では対立している諸問題について協議により解決する方向性になりつつも、一昨年以前のような関係性修復には至っていません。

今年度は、しあわせの村における地域福祉活動の一環として、高齢者と子どもたちとの世代間交流を協会との協力により復活できるよう、呼び掛けていくこととします。

(8) 地域・社会との連携

神戸常磐大学では、地域高齢者の「唯一無二の人生の歴史に触れる」ことを目的とした授業を実施しています。この取り組みに対し、グループわ では、多様な人生経験を持つ会員を話し手として派遣し、授業への協力を行っていきます。本活動を通じて、若い世代にシニアの豊かな経験や知恵を伝えるとともに、世代間交流の促進にもつなげていきます。

単位：円

科目	金 額		
(正味財産増減計算)			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
受取会費	2,000,000		
受取会費・入会金計		2,000,000	
受取寄付金			
受取寄付金	0		
受取寄付金計		0	
受取助成金等			
受取助成金	1,016,000		
受取助成金等計		1,016,000	
事業収益			
受託料収益	4,793,000		
参加料収益	250,000		
受講料収益	406,000		
販売収益	93,000		
事業収益計		5,542,000	
その他収益			
受取利息	8,000		
雑収益	160,000		
その他収益計		168,000	
経常収益合計			8,726,000
(2)経常費用			
事業費			
活動報酬	389,000		
旅費交通費	3,741,000		
通信運搬費	101,000		
材料費	145,000		
消耗品費	23,000		
印刷製本費	73,000		
賃借料	47,000		
保険料	500,000		
支払助成金	670,000		
業務委託費	39,000		
システム利用費	80,000		

雑費	66,000		
事業費計		5,874,000	
管理費			
旅費交通費	977,000		
通信運搬費	202,000		
消耗品費	233,000		
印刷製本費	137,000		
地代家賃	306,000		
保険料	184,000		
支払手数料	88,000		
システム利用費	186,000		
雑費	190,000		
減価償却費	233,000		
管理費計		2,736,000	
経常費用計			8,610,000
当期経常増減額			116,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	72,000		72,000
当期経常外増減額			0
当期正味財産増減額			44,000
前期繰越正味財産額			17,183,502
次期繰越正味財産額			17,227,502